



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 ダイワボウホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3107 URL <https://www.daiwabo-holdings.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 幸浩

問合せ先責任者 (役職名) 財務管理室長 (氏名) 花岡 博之

TEL 06-7739-7300

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	808,801	19.8	22,012	16.4	22,430	17.1	15,377	-
2024年3月期第3四半期	675,271	5.9	18,913	6.4	19,147	5.2	△4,198	-

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 16,382百万円 (-%) 2024年3月期第3四半期 △2,197百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	167.74	-
2024年3月期第3四半期	△44.92	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	423,998	141,420	33.3
2024年3月期	405,256	142,133	35.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 141,263百万円 2024年3月期 141,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	32.00	-	32.00	64.00
2025年3月期	-	45.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,142,500	18.1	34,500	11.4	34,900	11.0	23,900	458.0	260.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2025年2月7日）公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	96,356,460株	2024年3月期	96,356,460株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	6,535,914株	2024年3月期	2,890,097株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	91,671,698株	2024年3月期3Q	93,465,518株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2025年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2025年2月7日)公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善を背景に一部に足跡が残るものの緩やかな景気回復がみられる一方、世界情勢の不安定化、資源・エネルギー価格の高止まり、円安に伴う物価上昇の長期化や金融政策の見直しによる懸念など先行きについては不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）の対象期間を「事業ポートフォリオ変革による躍進期」と位置づけ、グループ基本方針として「ホールディングス体制での成長」「“過去最高”へのチャレンジ」「ステークホルダーエンゲージメントの向上」を掲げ、中長期ビジョンである『2030 VISION』の実現における重要な挑戦期間として引き続き企業価値の向上に取り組んでおります。

なお、2024年3月に大和紡績株式会社の発行済株式の85.0%を譲渡したため、繊維事業は前連結会計年度末をもって連結の範囲から除外しており、当期の経営成績に繊維事業は含まれておりません。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は808,801百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益は22,012百万円（前年同期比16.4%増）、経常利益は22,430百万円（前年同期比17.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15,377百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失4,198百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ITインフラ流通事業)

2025年10月に予定されるWindows10のサポート終了や、当期から開始されるGIGAスクール端末のリプレイス需要を見据え、販売体制の整備と推進活動に注力しました。また、企業のデータセンターやITインフラ案件にも積極的に取り組み、サーバーやネットワーク商品の提案に努めました。さらに、重点的に取り組んでいるサブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI（雷）」の提案を強化し、需要獲得に注力しました。クライアントPCは大企業を中心に需要が高まり、業績をけん引しています。企業向けでは、情報通信業、製造業を中心に需要が増加し、官公庁向けでも大型のIT投資案件を獲得することで売上高が拡大しました。需要拡大および案件の大型化が進むなか、製品供給が安定していることもあり、競争環境の激化により利益率が低下しているものの、利益額は計画を上回る実績となりました。文教向けにおいては、GIGAスクール第2期の本格化に向けて、先行調達の案件を獲得することで売上高が大きく伸びました。個人向け市場では、量販店向けにおいてPCやモニタが好調に推移し、コンシューマ部門全体としては前年売上高を上回る結果となりました。

以上の結果、当事業の売上高は799,680百万円（前年同期比28.5%増）、営業利益は21,477百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

(産業機械事業)

工作機械部門では、国内は造船やエネルギー業界等、一部好況な業界からの受注は継続しておりますが、主力となる航空機業界の本格的な受注回復は2025年後半以降となる見通しです。海外では米国向け市場で航空機業界を中心に受注が回復傾向であり、中国向け市場は円安による好影響により、受注は前年対比で増加しました。一方、売上高については、短納期在庫販売による需要の喚起もあり増収となりましたが、コストの増加もあり利益面では苦戦しました。自動機械部門では、販売機台の平均単価が前期よりも増加したこともあり、増収増益となりました。

以上の結果、当事業の売上高は9,121百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は532百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金や商品及び製品の増加等により前連結会計年度末に比べて18,741百万円増加し423,998百万円となりました。また、負債は、支払手形及び買掛金の増加等により前連結会計年度末に比べて19,454百万円増加し282,578百万円となり、純資産は、自己株式の取得等により前連結会計年度末に比べて713百万円減少し141,420百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、本日（2025年2月7日）公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,372	60,424
受取手形	3,251	3,272
売掛金	233,054	241,508
電子記録債権	20,740	25,517
商品及び製品	33,413	47,941
仕掛品	2,804	3,565
原材料及び貯蔵品	233	191
その他	14,411	11,610
貸倒引当金	△36	△38
流動資産合計	377,245	393,992
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,253	4,253
その他(純額)	5,985	6,911
有形固定資産合計	10,238	11,164
無形固定資産		
のれん	1,351	1,239
顧客関連資産	1,044	957
その他	1,295	1,879
無形固定資産合計	3,691	4,075
投資その他の資産		
その他	14,133	14,817
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	14,081	14,765
固定資産合計	28,011	30,005
資産合計	405,256	423,998

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	206,212	229,156
短期借入金	8,400	7,304
未払法人税等	4,438	2,443
賞与引当金	2,236	1,183
その他の引当金	310	201
その他	18,145	19,013
流動負債合計	239,742	259,302
固定負債		
長期借入金	12,500	13,266
役員株式給付引当金	119	115
退職給付に係る負債	5,310	4,344
その他	5,450	5,549
固定負債合計	23,380	23,275
負債合計	263,123	282,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,696	21,696
資本剰余金	7,954	7,954
利益剰余金	115,226	123,544
自己株式	△5,133	△15,088
株主資本合計	139,744	138,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,038	3,483
繰延ヘッジ損益	52	271
為替換算調整勘定	260	269
退職給付に係る調整累計額	△1,161	△867
その他の包括利益累計額合計	2,189	3,156
非支配株主持分	199	156
純資産合計	142,133	141,420
負債純資産合計	405,256	423,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	675,271	808,801
売上原価	621,221	754,735
売上総利益	54,050	54,066
販売費及び一般管理費	35,136	32,053
営業利益	18,913	22,012
営業外収益		
受取利息	12	2
受取配当金	173	268
販売支援金	229	272
その他	347	279
営業外収益合計	763	822
営業外費用		
支払利息	117	86
金融手数料	19	30
持分法による投資損失	19	—
自己株式取得費用	—	132
その他	373	154
営業外費用合計	530	404
経常利益	19,147	22,430
特別損失		
固定資産除売却損	19	—
関係会社株式評価損	23	—
減損損失	16,703	—
その他	1	1
特別損失合計	16,747	1
税金等調整前四半期純利益	2,399	22,429
法人税、住民税及び事業税	5,182	6,356
法人税等調整額	1,365	695
法人税等合計	6,547	7,052
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,148	15,377
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	49	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,198	15,377

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,148	15,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	883	444
繰延ヘッジ損益	△2	219
為替換算調整勘定	512	47
退職給付に係る調整額	444	294
持分法適用会社に対する持分相当額	113	—
その他の包括利益合計	1,951	1,005
四半期包括利益	△2,197	16,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,302	16,344
非支配株主に係る四半期包括利益	105	38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,669,700株の取得を行いました。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が9,955百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が15,088百万円となっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,653百万円	1,421百万円
のれんの償却額	112	112

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITイン フラ流通 事業	繊維事業	産業機械 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	622,276	43,845	8,699	674,821	450	675,271	—	675,271
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	118	13	—	131	167	299	△299	—
計	622,394	43,859	8,699	674,953	617	675,571	△299	675,271
セグメント利益	17,459	797	584	18,841	32	18,873	40	18,913

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

繊維事業におきまして、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当第3四半期連結累計期間におきまして減損損失16,703百万円を特別損失に計上いたしました。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ITイン フラ流通 事業	産業機械 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	799,680	9,121	808,801	—	808,801
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	95	—	95	△95	—
計	799,776	9,121	808,897	△95	808,801
セグメント利益	21,477	532	22,010	2	22,012

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、当社の連結子会社であった大和紡績株式会社の株式譲渡を行い、連結の範囲から除外しました。これにより、第1四半期連結会計期間から、「繊維事業」の報告セグメントと「その他」の区分を廃止しております。なお、「その他」には保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおりました。